

研究課題名	当院における門脈ステント留置術の成績と閉塞に関わる因子の検討
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科放射線診断学 教授 栗井 和夫
研究期間	実施許可日 ～ 2026 年 3 月 31 日
対象者	2004 年 1 月から 2023 年 12 月の間に、広島大学病院放射線診断科で門脈ステント留置術を受けられた患者さん
意義・目的	門脈ステント留置術は症候性の門脈狭窄あるいは閉塞に対して、低侵襲かつ有効な治療法として知られていますが、ステント留置後に閉塞をきたす症例が少なくありません。ただしステント閉塞の予測や予防法に関する検討は十分に行われているとは言いがたいのが現状です。本研究では、当院における門脈ステント留置術の成績およびステント閉塞に関わる因子を統計的に解析することで、門脈ステント閉塞の予測と予防法を検討し、治療成績の向上につながるという意義があります。
方法	本研究は、診療録（カルテ、血液検査、血管造影および CT 画像）情報を調査して行います。カルテから使用する内容は年齢、性別、臨床症状、悪性病変の有無、手術歴及び術式、投薬歴、術後転帰、血液検査（PT-INR, 血小板数）です。また、術前術後の CT 画像や術中の血管造影画像も用います。取得した情報は、氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく研究用の符号をつけ、どなたのものか分からないようにして研究に用います。
共同研究機関	ありません
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科放射線診断学 教授 栗井和夫
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5257 広島大学病院放射線診断科 職名 医科診療医 植田 真智